



絵のあるところ、
すむところ

KEIHOON

日本画
×
住宅

第三回
景聴園
×
旧木下家住宅

2015 03.15^① - 28^②

開館時間 / 10時 ~ 17時

(入館は16時30分まで) *最終日の展示は15:30分まで 休館日 / 月曜日

入館料 / 一般 100円 高校生・65歳以上 50円 中学生以下は無料



art



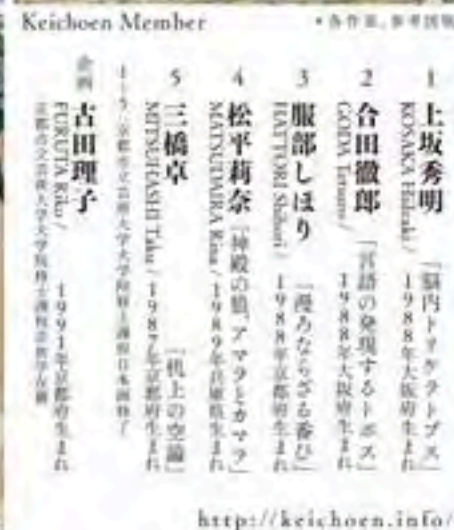
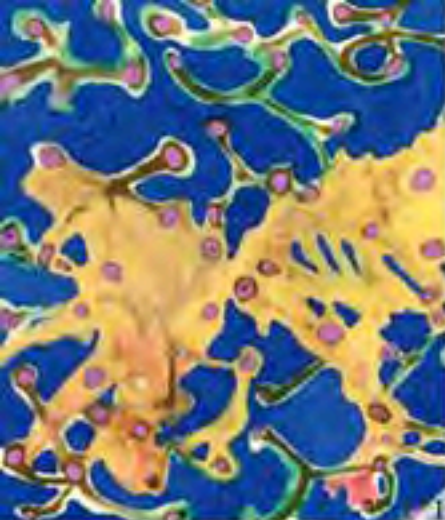
City of Kobe
KOBETV

主催：旧木下家住宅 art 実行委員会
共催：公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会、景聴園
後援：神戸新聞社 特別協力：(株)吉祥、(株)ケーエス、(株)名村大成堂
平成26年度ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業

景聴園

けいちょうえん

京都市立芸術大学で学んだ二十代の日本画家グループです。
「日本画」という共通の手段を用いて、未だ知り得ない
「日本」の景色との出会いに挑戦します。



Keicho-en Member

- 1 上坂秀明 (舞内トヨタケグループ)
KOSAKA Hiromi / 1988年大阪府生まれ
 - 2 合田徹郎 「言語の発現するトピス」
GODA Tetsuro / 1988年大阪府生まれ
 - 3 服部しほり 「漫ろながらる香ひ」
HATTORI Shiori / 1988年京都府生まれ
 - 4 松平莉奈 「神殿の鳥、アマツヒカマツ」
MATSUMURA Rina / 1989年京都府生まれ
 - 5 三橋卓 「机上の空論」
MITSUBISHI Takaharu / 1989年京都府生まれ
- 会場 京都市立芸術大学美術学系1階 演習室100号
主催 京都市立芸術大学美術学系1階 演習室100号
協賛 京都市立芸術大学美術学系1階 演習室100号

<http://keicho-en.info/>

絵のあるところ、すむところ。この度、旧木下家住宅を景聴園がしつらえます。古くから城園や寺院にしつらえられた障壁画は、それぞれの部屋にふさわしい絵が描かれることでその部屋の役割を演出しています。また、掛け軸や扇面に仕立てた物まで、絵はさまざまな形に姿を変えてみせます。そうして日々の暮らしに寄り添いながら、別世界の景色を広げ、わたしたちの好奇心を常に喚起してくれます。美術館やギャラリーで非日常的な体験として絵と接することが多くなった現代ですが、空間や機能といったあらゆる関係性に想いを巡らせて絵を楽しむ態度を、わたしたちは生活のなかでごく当たり前のように持ち合わせていたはずなのです。旧木下家住宅は、かつてこの場所で生活していた家主のこだわりが随所に見られるユニークな住宅です。舞子という土地や家主の想いを汲み、現代に生きる若手日本画家たちが引き出す旧木下家住宅のもうひとつの物語をお楽しみ下さい。(文：古田理子)

旧木下家住宅

旧木下家住宅は、もとは又野貞助氏が私邸として昭和十六年に竣工した数寄屋造近代和風住宅です。昭和二十七年に木下家(木下吉左衛門氏)の所有となり、平成十二年に故木下吉治郎氏のご遺族から兵庫県が寄贈を受けました。阪神・淡路大震災以後、姿を消しつつある阪神間の和風住宅のなかで、創建時の屋敷構えをほぼ完全に残す貴重な建物として、平成十三年に国の登録有形文化財に登録されました。



ワークショップ「日本画」を描いてみよう ※無料、事前申込制

景聴園のメンバーによる「日本画」体験のワークショップを開催します。画や岩絵の具を使って、舞子の松や波をテーマにさまざまな技法にチャレンジ。出来上がった作品は掛け軸風に仕上げるので、そのまま部屋に飾って楽しめます。絵のある生活の第一歩!

問い合わせ・申し込み先 Tel (078)787-2050
日時：①3/21(土) ②3/22(日) 定員：各回10名
両日14:00開始 ※所要時間約2時間程度

協力：吉祥 名村大成堂



※作品イメージ

兵庫県立舞子公園 旧木下家住宅

交通案内

- JR「舞子」
山陽電車「舞子公園」
下車徒歩5分
- 自動車
旧木下家住宅には駐車場が
ございません。舞子公園市地
区の駐車場をご利用ください。

